

西区拠点商業活性化推進事業計画

第2期

令和2年3月
新潟市 西区役所

目 次

1 計画の概要	
（1）計画策定の趣旨	1
（2）計画期間	1
2 西区の現状	
（1）西区の概要	1
（2）西区が目指すこれからのまちづくり	1
（3）商業地の概要	2
（4）各種統計にみる西区の商業を取り巻く状況	2
3 拠点商業地の位置及び区域	4
4 拠点商業地活性化に向けた課題整理	
（1）アンケート調査の概要	5
（2）拠点商業地の主な課題	6
5 拠点商業地の活性化に向けた取組み	
（1）拠点商業地活性化の基本方針	8
（2）拠点商業地活性化の目標	9
（3）活性化に向けての具体的な取組内容	10
6 計画の着実な実施	14

1 計画の概要

(1) 計画策定の趣旨

この計画は、本市総合計画「にいがた未来ビジョン」におけるまちづくりの方針である「新潟らしいコンパクトなまちづくり」を商業分野から推進していくため、区内で拠点性を有すると認められる地域の活性化を進め、特色を生かしたまちなかの実現を図ることを目的に策定しました。

第1期計画（以下、「前計画」という。）は平成27年度からの5年計画で実施し、最終年度の令和元年度に成果検証を行いました。基本方針に沿って事業を実施し、一定の成果はありましたが、目標に掲げた事項の一部を達成することはできませんでした。

今後も西区が目指すまちづくりの将来像を実現するためには、さらなる拠点化及び個性化を進めて商業の活性化を推進していく必要があります。

このたび、前計画の検証結果及びまちづくりの方針を踏まえて第2期計画（以下、「本計画」という。）を策定しました。

(2) 計画期間

令和2年度から令和4年度までの3年間とします。

2 西区の現状

(1) 西区の概要

西区は、信濃川及び関屋分水路以西に位置し、坂井輪地区、西地区、黒埼地区で構成されています。区内は鉄道沿線や幹線道路沿いを中心に良好な住宅地が形成され、西には砂丘地、南には田園地帯が広がり、都市部と農村部がバランスよく存在しています。

また、河川・潟・海などの豊かな水環境に恵まれているとともに、大学などの学術研究機関が多くあります。幹線道路沿いには、物流基地の流通センターや多くの商業店舗が立地しています。農業分野では、稲作を主体としながら畑作も盛んで、くろさき茶豆・新潟すいか・新潟砂丘さつまいも「いもジェンヌ」などが県内外に知られています。

西区の人口は、平成27年国勢調査で162,833人、新潟市8区の中で中央区に次いで2番目の人口規模です。面積は、94.09㎢で新潟市8区の中で5番目、全市域の約13%を占めています。

(2) 西区が目指すこれからのまちづくり

西区では、平成27年度から令和4年度までの8年間における本市の目指す姿（都市像）を示す「にいがた未来ビジョン（新潟市総合計画）」の基本計画の一部として位置づけられている「西区区ビジョン基本方針」の実現に向け、より具体的な取組みを示す「西区区ビジョンまちづくり計画」を策定し、区の実情に沿った事業を展開しています。

その「まちづくり」を商業分野から推進していくため、本計画によって、拠点性を有すると認められる地域内の商業の活性化を図り、「活力あるまちなか」を実現していきます。

西区 区ビジョン まちづくり計画

区の将来像

都市と農村が融合する、うるおいの住環境と優れた学術環境に育まれるまち

目指す区のすがた

- I 人と人がつながり、安心・安全に暮らせるまち
- II 都市と農村が融合するまち
- III だれもが学び合える学術と文化のまち
- IV 豊かな自然と快適な住環境を大切にするまち
- V 地域と区役所が共に歩むまち

(3) 商業地の概況

西区内には5つの商店街があり、西地区に3つ、坂井輪地区に2つあります。

また、商工会法に基づく、新潟西商工会（西地区）、赤塚商工会（西地区）及び黒埼商工会（黒埼地区）の3つの団体があり、坂井輪地区については新潟商工会議所に属しています。

これら3つの商工会は、区内の商工業の振興を図るため、西区連合商工会を組織し連携を取りながら事業を展開しています。

このほか、幹線道路沿いには大規模小売店舗が多数出店しており、にぎわいを創出する一方で、商店街に少なからず影響を及ぼしています。

商店街	内野駅前商店会	内野大通り商店会	内野町中央通り商店会
	坂井輪商工振興会	浦山町商店会	
商工会	新潟西商工会	赤塚商工会	黒埼商工会

(4) 各種統計にみる西区の商業を取り巻く状況

ア 人口・世帯数

	人口（人）			世帯数（世帯）		
	平成26年	令和元年	増減	平成26年	令和元年	増減
新潟市	804,561	789,368	△15,193	327,319	340,814	13,495
西区	157,908	156,824	△1,084	66,025	68,910	2,885

（住民基本台帳 各年9月末現在）

市全体と同様、人口は減少していますが世帯数は増加しており、1世帯当たりの人数が減少傾向にあります。

イ 少子・高齢化率

	人口（人）		0～14歳		65歳以上	
			人口（人）	率（%）	人口（人）	率（%）
新潟市	平成26年	804,561	100,614	12.5	209,098	26.0
	令和元年	789,368	94,745	12.0	229,878	29.1
西区	平成26年	157,908	20,344	12.9	41,096	26.0
	令和元年	156,824	19,550	12.5	45,558	29.1

（住民基本台帳 各年9月末現在）

市全体と同様、年少人口及び率は減少、高齢者人口及び高齢化率は増加傾向にあります。年少人口率は市全体を上回っており、子育て世代の居住が多い傾向が見受けられます。

ウ 小売業（商業統計）

	事業所数			従業員数（人）		
	平成19年	平成26年	増減率(%)	平成19年	平成26年	増減率(%)
新潟市	7,854	5,434	△30.8	52,095	42,173	△19.0
西区	1,173	861	△26.6	9,352	8,163	△12.7

	年間商品販売額（百万円）			売場面積（㎡）		
	平成19年	平成26年	増減率(%)	平成19年	平成26年	増減率(%)
新潟市	940,963	854,656	△9.2	1,216,226	1,063,675	△12.5
西区	169,730	175,119	3.2	209,615	205,855	△1.8

（経済産業省 商業統計）

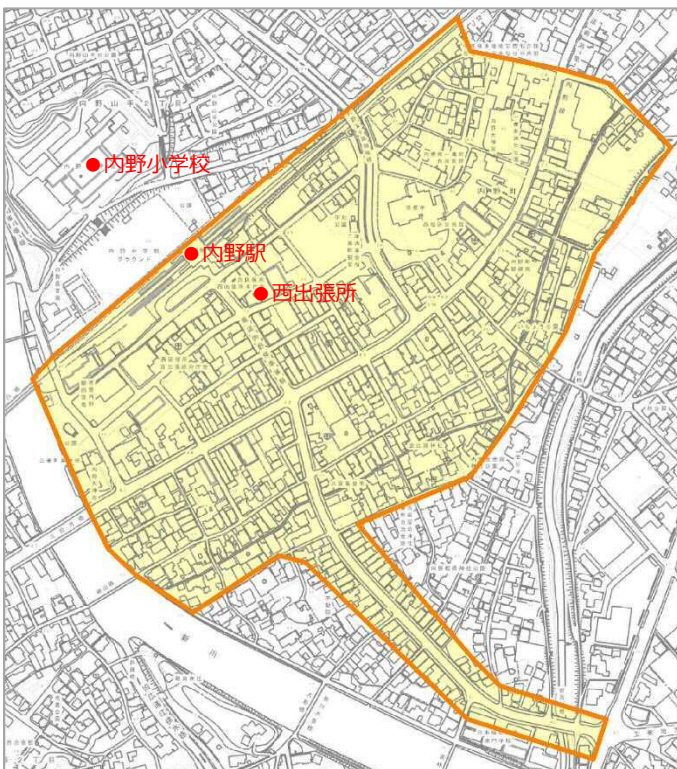
市全体の小売業は、すべての項目で減少していますが、西区では商品販売額が増加、売場面積も微減に留まっています。これは、大型店・量販店の進出の影響と考えられます。しかし区内の既存小売店は、事業所数の大幅減が示すとおり、大規模小売店舗やインターネット販売などにより、厳しい状況にあると考えられます。

3 拠点商業地の位置及び区域

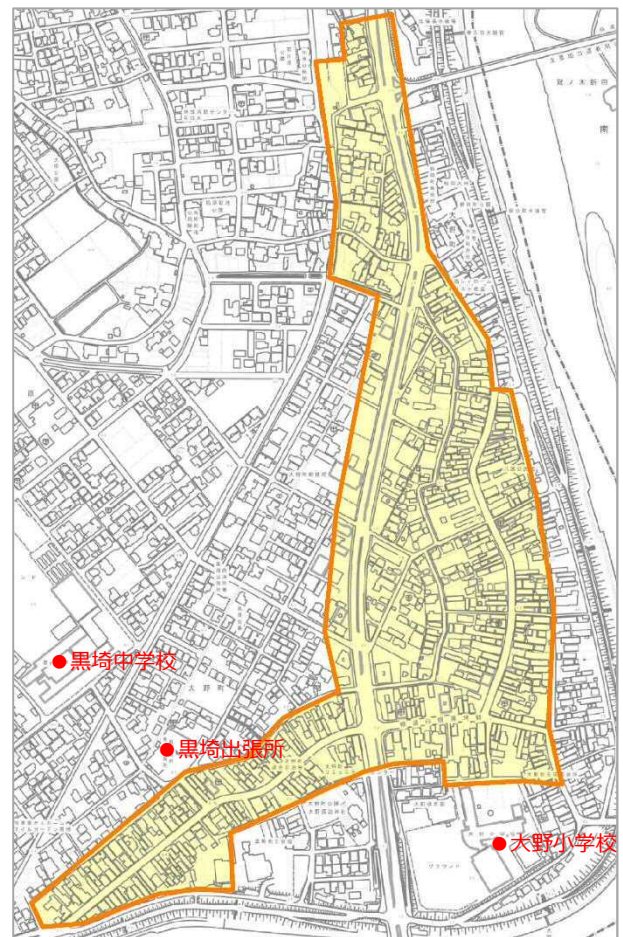
前計画では、拠点商業地として、区内で拠点性を有し、その商業機能を高めることにより区民の利便性の向上が図られ、かつ、活性化の効果が他の地域の活性化にも有効であると認められる区域として内野地域と黒埼地域を選定しました。両地域には古くからそれぞれ商業区域が形成され、さらに地域の商工業を支える商工会が商店街の振興・発展に向け、様々な事業を行っています。

前計画の結果も踏まえ、より一層の活性化を図るため、本計画においても前計画の拠点商業地を継承します。

【内野地域】



【黒埼地域】



4 拠点商業地活性化に向けた課題整理

(1) アンケート調査の概要

前計画の最終年度にあたり、計画と現状を分析し課題をとらえ、検証・評価することを目的にアンケートを行いました。

ア 調査期間

令和元年11月18日(月)～11月29日(金)

イ 調査対象

拠点商業地(内野地域・黒埼地域)の商店経営者、商店街利用者、子育て世代及び大学生並びに内野及び大野町の商店街周辺に住む満20歳以上の中から、無作為に600人を抽出

ウ 配布数

(ア) 商店経営者	114枚(内野:74枚 黒埼:40枚)
(イ) 商店街利用者	300枚
(ウ) 子育て世代	200枚
(エ) 大学生	100枚
(オ) 地域住民	600枚

エ 調査内容

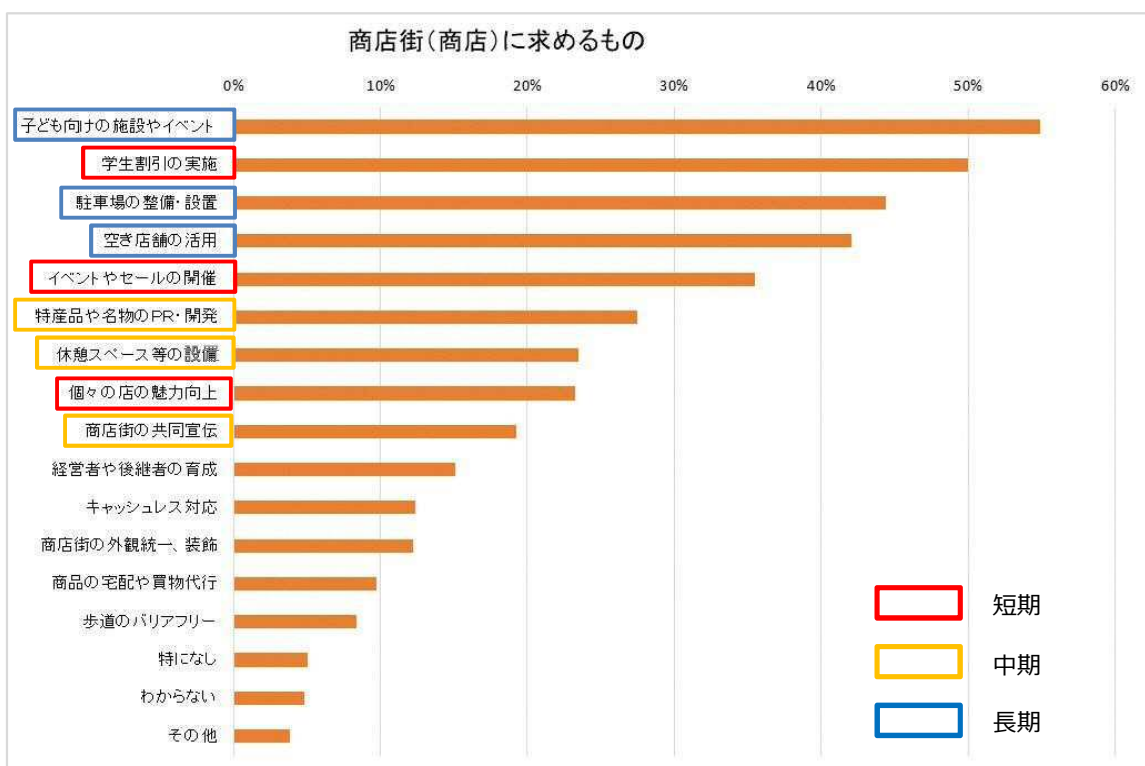
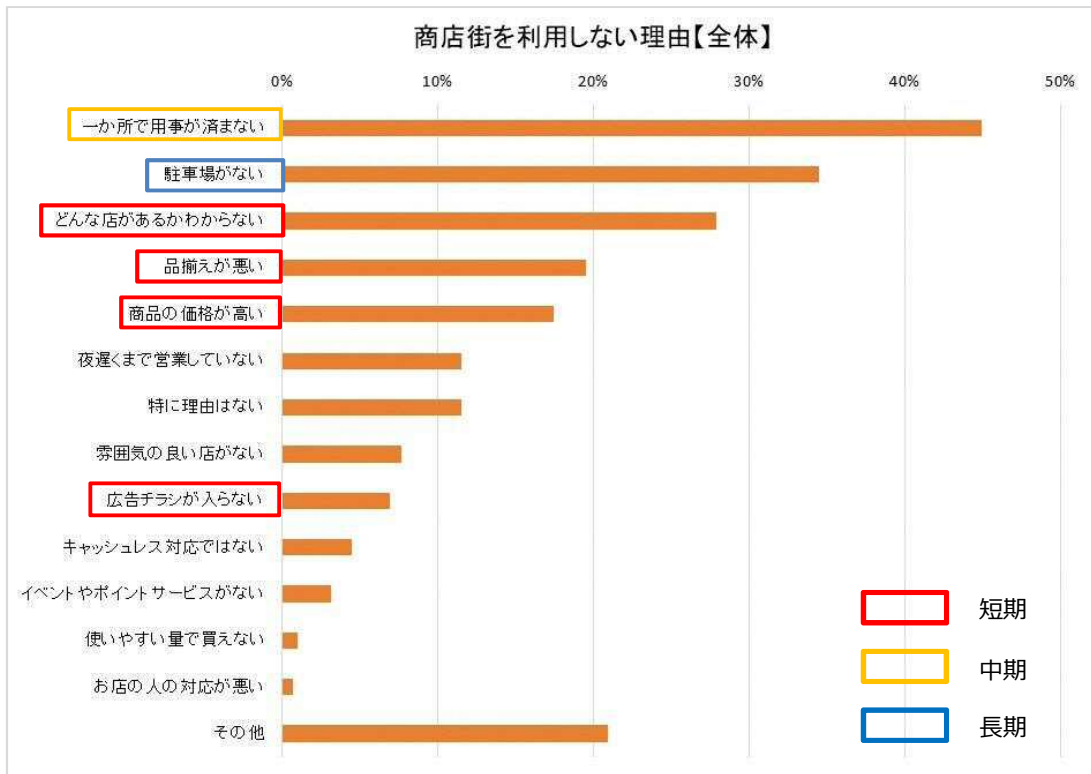
商店街の利用状況、商店経営者側のニーズ、商店街利用者・学生・子育て世代等のニーズ等

オ 回収数・回収率

(ア) 商店経営者	69枚・61%
(イ) 商店街利用者	107枚・35%
(ウ) 子育て世代	144枚・72%
(エ) 大学生	68枚・68%
(オ) 地域住民	278枚・46%

(2) 拠点商業地の主な課題

アンケート調査の以下の項目の結果を基に、取り組むべき課題を「短期」「中期」「長期」の3つの期間に分けて整理しました。



短期的に取り組むべき課題

→ 各店での取組みが可能で、比較的着手が容易な課題

①情報発信不足 ②消費者ニーズの把握不足

商店街を利用しない理由の上位にある「どんなお店があるかわからない」や、「広告チラシが入らない」が示すように、商店街や商店からの情報発信は不足しているようです。特に「どんなお店があるかわからない」は、大学生向けアンケートではトップ、子育て世代向けアンケートでも上位にあります。また、商店街を利用する大半の主目的が買い物であるにもかかわらず、「品揃えが悪い」「商品の価格が高い」などの意見があり、取扱う商品が消費者のニーズに合っていないことがうかがえます。さらに、商店街に求めるものにおいては、「学生割引の実施」や「イベントやセール開催」を希望する回答が多いことから、消費者ニーズの把握不足が生じている可能性があります。

消費者のニーズを的確に把握したうえで「個々の店の魅力向上」を図り、様々な媒体を利用した情報発信を行う必要があります。

中期的に取り組むべき課題

→ 各店ではなく、商店街関係者が協働して取り組むべき課題

①商店街の利便性

アンケート調査の結果、商店街を利用しない理由のトップは「一か所で用事が済まない」でした。多種多様なテナントが入居している大型店舗の増加等の理由により、一か所で用事が済まない商店街は不便だと認識されていることがうかがえます。

しかし、大型店舗との比較による不便さを解消するよりも、大型店舗にはない商店街の良さを強みに、「特産品や名物のPR・開発」や「休憩スペース等の設置」、「商店街の共同宣伝」など、商店街全体で取り組む必要があります。

長期的に取り組むべき課題

→ 対応が長期に渡ることから、社会全体で取り組むべき課題

①駐車場不足 ②空き店舗の増加・活用

商店街を利用しない理由の上位に「駐車場がない」があります。マイカー依存や駐車場のある大型店舗の増加等の社会的背景により、駐車場の整備・設置が求められています。また、商店街に求めるものとして、「子ども向けの施設やイベント」や増加する「空き店舗の活用」があります。

ただし、これらはハード整備を伴い、対応・調整に時間を要し、社会的な問題でもあることから、社会全体の課題として捉え、取り組む必要があります。

5 拠点商業地の活性化に向けた取組み

(1) 拠点商業地活性化の基本方針

アンケート結果から見えるように、商店街の活性化には、それを構成する個店の充実が必要不可欠です。消費者のニーズや買い物の手段が多様化する中で、商店街で買い物をしてもらうためには、消費者が行きたくなる店や買いたくなるような商品やサービスの提供等、大型店舗にはない個店ならではの付加価値や魅力を高めることが重要となってきます。

さらにイベントの開催など、商業者と区民や関係団体が協働して地域活動を展開することにより、地域の一体感の醸成や商店街の活性化につながっていきます。

以上を踏まえ、本計画の基本方針は次のとおりとします。

【基本方針Ⅰ】 地域に親しまれ、多世代から利用されるまち

多様化した消費者のニーズを把握し、積極的に情報発信を行う等、消費者の目線でサービスを提供することで、地域の様々な世代の人から利用されるまちを目指します。

【基本方針Ⅱ】 地域の魅力を感じるまち

オンリーワンの商品や店、特産物など地域の財産・魅力を活用した取組みを進め、大型店にはない魅力を持つ商店街、多様な人たちが集うまちを目指します。

【基本方針Ⅲ】 地域が一体となって活動するまち

商店街と幅広い世代の人々や精力的に活動する地域団体などが連携・協働し、魅力向上とにぎわい創出のため積極的に活動するまちを目指します。

(2) 拠点商業地活性化の目標

基本方針に掲げたまちを実現するために、具体的な達成目標（成果指標）を定め、その達成に向けて、様々な事業を展開するとともに進行管理を行います。

そして、本計画の最終年度である令和4年度にはそれぞれの成果指標を達成することを目指します。

【成果指標】

I 地域に親しまれ、多世代から利用されるまち

- ① 商店街利用者の利用満足度 → 目標：35%
【住民アンケート】 (現状：30%)
- ② 商店街を利用する理由で
「サービスやアフターケアがよい」を選択 → 目標：10%
【住民アンケート】 (現状：7%)
- ③ 高齢者や障がいのある人などへのサービス実施 → 目標：60%
【商店経営者アンケート】 (現状：58%)

II 地域の魅力を感じるまち

- ① 「商店街のおすすめ（食べ物や店舗）がある」を選択 → 目標：25%
【住民アンケート】 (現状：20%)
- ② 商店街を利用する理由で
「好きなお店・商品がある」を選択 → 目標：30%
【住民アンケート】 (現状：27%)
- ③ 商店街を利用する理由で
「店の人との会話・ふれあい」を選択 → 目標：30%
【住民アンケート】 (現状：25%)

III 地域が一体となって活動するまち

- ① 商店街と地域団体等が連携した取組み → 目標：10件以上
(現状：10件)
- ② 商店街活性化に向けた活動に関わりたいか
「はい」「どちらかといえば、はい」を選択 → 目標：60%
【商店経営者アンケート】 (現状：56%)

(3) 活性化に向けての具体的な取組内容

【基本方針 I】 地域に親しまれ、多世代から利用されるまち

事業名	取組内容	実施主体	実施時期	支援制度
ITを利用した PR 事業	ホームページや SNS 等を用いて商店の PR を行う。	新潟西商工会 黒埼商工会	R2～ (継続)	
商店街マップの作成	商店街の店舗や取扱商品を PR する案内マップや、地域の歴史的背景等を感じられる史跡を巡るための観光マップ等を作成する。	新潟西商工会	R2～検討 R4～実施	
顧客満足度向上事業	顧客満足度を上げ利用者増につなげるため、個店の魅力アップとなる接客技術の向上や商品陳列方法等についての講習会や調査研究を行う。	黒埼商工会	R2～ (継続)	
年末大売出し	商工会会員から加盟店を募集し、年末に大売出しを開催する。	黒埼商工会	R2～ (継続)	
宅配見守りサービス	商品の宅配をした際に、付近の住宅に声掛けして、安否を確認する。	黒埼商工会	R2～検討 R3～実施	
高齢者安心買物サービス	高齢者が入居する介護施設等と連携して、施設利用者に対し、出張販売を行う。	黒埼商工会	R2～検討 R3～実施	
特別クリアランスセール	年 1 回、在庫一掃セールを兼ねて、安価で商品を提供する。	黒埼商工会	R2～検討 R3～実施	

【基本方針Ⅱ】地域の魅力を感じるまち

事業名	取組内容	実施主体	実施時期	支援制度
空き店舗の活用 検討	商店街の中の空き店舗の有効活用や、ホームページでの空き店舗情報提供について、調査・研究する。	新潟西商工会	R2～	
うちの DE 月見酒	内野にある2つの酒蔵、樋木酒造と塩川酒造の清酒、「鶴の友」と「越の関」に焦点を当てたイベントを開催し、2つの酒蔵の清酒を今まで以上に知っていただくとともに、地域の活性化を図る。	新潟西商工会 青年部	R2～ (継続)	
フリーマーケット開催	内野の露店市やイベントに合わせ、フリーマーケットを開催する。	内野3商店会 新潟西商工会	R2～検討 R4～実施	
イルミネーション設置 事業	冬の商店街の華やかさを演出し、利用者に楽しんでもらうため、イルミネーションを設置する。	内野駅前 商店会 内野・五十嵐 まちづくり協議会	R2～ (継続)	商店街活性化ステップアップ事業費補助金
のぼり・暖簾等の 設置	商店街のシンボルとなる、のぼりや暖簾等を作成・設置し、商店街のイメージアップを図る。	うちの暖簾会	R2～ (継続)	商店街環境整備事業補助金
くろさき茶豆の活用	農商工連携事業の一環として、茶豆商品の販路拡大や新商品の開発を図るとともに、茶豆の時期にスマートインター等で茶豆を販売する。	黒埼商工会 J A	R2～ (継続)	

【基本方針Ⅲ】地域が一体となって活動するまち

事業名	取組内容	実施主体	実施時期	支援制度
内野まつり	毎年9月第2金曜日から日曜日にかけての3日間、地域をあげて、民謡流しや山車引廻し、みこし渡御、バンドフェスティバル等を実施する。	内野まつり 実行委員会	R2～ (継続)	商店街活性化ステップアップ事業費補助金
内野まつりカラオケ大会	内野まつり最終日の夜に、近隣住民やカラオケ活動団体等からの応募・参加によるカラオケ大会を開催し、地域住民に楽しんでもらう。	新潟西商工会 内野・五十嵐 まちづくり協議会	R2～ (継続)	
うちのDE 夜店まつり TOビアガーデン	内野地域の中心街に人を集めて商店街での買い物促進すること、商店街を支えてくれる地域への感謝の気持ちを込めて、協賛各店が出店する。	夜店まつり 実行委員会 新潟西商工会 商業部会 新潟西商工会 青年部 内野・五十嵐 まちづくり協議会	R2～ (継続)	商店街活性化ステップアップ事業費補助金
うちのDE 人文字 in 花見	桜で有名な内野小学校のグラウンドで、参加者が「うちの」の人文字を作り、それを上空からドローンで撮影し、参加者の記念にする。	新潟西商工会 青年部	R2～ (継続)	
内野花火大会	内野花火大会が行われなくなってから30年以上経過しているが、多くの方の記憶に深く刻まれており、愛されていた花火大会を復活させることが地元市民の想い、さらには花火を通して子どもたちを笑顔にしたい、そんな想いから開催する。	内野花火 実行委員会 (新潟西商工会青年部)	R2～ 検討・実施	
写真愛好家等の 作品展示	写真・絵画・書など、愛好家の作品を商店内やまちづくりセンター等に展示する。	内野駅前 商店会 内野・五十嵐 まちづくり協議会	R2～ (継続)	

事業名	取組内容	実施主体	実施時期	支援制度
花いっぱい運動	商工会女性部や地元小学校の児童がプランターに花を植え、街路等を装飾する。	新潟西商工会 女性部 内野小学校 黒埼商工会 女性部	R2～ (継続)	
新川ほたるアート チェーンリング 2020	新川ほたる関連事業を3つ開催する。 ～内野 2020 新川ほたる～ ～内野 2020 新川ほたる写真展～ ～光のパフォーマンス～	内野・五十嵐 まちづくり協議会	R2～ 検討・実施	
黒埼まつり	黒埼まつりを盛り上げ、まちを元気にするため、地域住民総出で参加する。	黒埼まつり 実行委員会	R2～ (継続)	黒埼まつり 補助金
大野町盆踊り大会	毎年9月1日開催の大野まつりで、竿燈を持って練り歩き、盛り上げる。	黒埼地域 自治会 黒埼竿燈 有志会	R2～ (継続)	
大野小学校との 連携事業	大野小学校と連携し、黒埼まつりでは巨大紙相撲大会、10月にはハロウィン仮装大会を行う。	黒埼商工会 青年部	R2～ (継続)	
内野地域商店街 活性化ワーキング チーム会議	内野地域の商店街の活性化や課題を解決していく取組みの検討を行う。	新潟西商工会	R2～ (継続)	
黒埼地区活性化 検討委員会	黒埼地区の活性化策を検討し、活性化に資する商品等の開発や各種事業を実施する。	黒埼商工会	R2～	

6 計画の着実な実施

本計画を着実に進め、実効性あるものにしていくためには、事業者や商業団体、関係団体等、それぞれが役割を果たしつつ連携・協働していくことが重要であり、実施していくうえでは支援体制も必要です。

また、計画事業の実施状況の点検・評価を行い、そのうえで、商業活性化に係る問題、事業を巡る状況や社会的動向などを加味しながら見直しを行い、新たな課題等に対応していかなければなりません。

本計画推進のために、「西区拠点商業地活性化推進委員会」を設置して計画の進行管理を行い、必要に応じて関係機関等と連携を図りながら、西区の商業活性化を目指します。

西区拠点商業地活性化推進委員会 委員名簿

分野	氏名	所属等
学識経験者	小宮山 智志	新潟国際情報大学 准教授
経済関係者	田辺 信一	新潟西商工会 事務局長
	近藤 一博	黒埼商工会 商業部副部長
地域コミュニティ	塩川 英男	内野・五十嵐まちづくり協議会 副会長
	広川 紀夫	大野校区ふれあい協議会 副会長

敬称略 令和2年3月現在